

「射出成形機」と「歯科用ミリングマシン」が
公益財団法人日本デザイン振興会が主催する
2018年度グッドデザイン賞を受賞

<受賞製品のご紹介>



射出成形機 CE-TOWER ML-100



歯科用ミリングマシン CE-TOWER MD-350

■射出成形機 [CE-TOWER ML-100]

ML-100 は、多品種少量生産と部品内製化というニーズに応えた、世界最小クラスの液状シリコン樹脂射出成形機です。タワー型構成による省スペース化、セーフティ機構、ワンタッチ式金型交換機構、フレキシブルな配置など実現。また、シンプルなデザインは、整然として美しい生産現場の環境作りに貢献することを目指しています。

<審査委員評価コメント>

画一的な大量生産型のモノづくりから、よりきめ細やかな世の中のニーズに応えるためのモノづくりが重要になってきた。このタワー型射出成形機は、一般的な横型のものと比べて一見して射出成形機だと認識するのが難しいほど圧倒的にコンパクトかつスマートであり、必要であればキャスターで移動させることもできる。自由な設置性、金型交換の容易さ、シンプルな操作性によって、これからの時代に求められる柔軟なモノづくりの環境を支え、生産現場の風景を変えうる提案であると評価した。

■歯科用ミリングマシン [CE-TOWER MD-350]

MD-350 は、高速で高精度な加工を実現した歯科用ミリングマシンです。デジタル技術の進化で成長する歯科ミリング分野に、従来から定評ある自社工業用加工機の技術を応用して参入。独自の高剛性 RIGID BODY を継承して信頼性の高い加工を可能にしました。省スペースなタワー型構成・圧迫感のないフォルム・清潔感のあるカラーリングで歯科技工所空間に調和することを目指しています。

＜審査委員評価コメント＞

人工衛星の部品加工にも用いられた実績を持つという、精密金型加工用途の小型マシニングセンタを歯科医療に応用した製品である。筐体設計の工夫と構成要素のレイアウトの見直しによって、歯科医療空間に求められる静粛性、省スペース化、衛生面、そしてユーザビリティにおける最適化を実現している。

同社が育ててきた工業用途向け加工機器における省スペース・高速・高い加工精度という技術と強みを、新たに歯科医療向けに転用してイノベーター的な価値を生み出すという試みは、今後の日本企業の持つ可能性を示唆しているように思う。

＜受賞製品の展示について＞

今回の受賞製品は、グッドデザイン賞の受賞展示イベント「グッドデザインエキシビション 2018」（東京都港区・東京ミッドタウン／10月31日～11月4日）に、パネル展示される予定です。

＜「グッドデザイン賞」とは＞

グッドデザイン賞は、公益財団法人日本デザイン振興会が主催する日本で唯一の総合的なデザイン評価・推奨の仕組みです。1957年に通商産業省（現経済産業省）によって創設された「グッドデザイン商品選定制度（通称Gマーク制度）」を発端に、これまで約60年にわたり、デザインを通じて日本の産業や生活文化を向上させる運動として展開され、現在では広く認知されています。

＜受賞製品への問い合わせ先＞

キヤノン電子株式会社 環境機器事業部

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-10

TEL:03-6910-4128